

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース

天津大学

## 2015 年度国際建築・都市設計ワークショップ

### 「二つの都市軸の連結による公共空間の再生」



大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コースでは、2015年5月25日(月)から29日(金)までの5日間、名古屋大学東山キャンパス環境総合館1階レクチャーホールを主会場として、中国の天津大学と共同で、建築・都市設計ワークショップを開催しました。今回は天津大学の都市計画や建築を専攻する大学院生・学部生8名と名古屋大学建築学コースの大学院生17名(うち2名はNUPACE留学生としてパリのENSA-PVSから名古屋大学に在籍中)の計25名が参加しました。ワークショップの指導は、鄭穎副教授(天津大学)、小松尚准教授、高取千佳助教(名古屋大学)と4名のティーチングアシスタントが行いました。本ワークショップは、名古屋大学建築学コースと天津大学の修士課程学生を対象に、異なる文化的背景を持った学生同士がコミュニケーションを取りながら一つの建築・都市デザインの提案をまとめる機会として、ENSA-PVSと2009年から、天津大学と2014年から開催しています。ENSA-PVSは参加予定でしたが、諸般の事情で参加が見送られました。

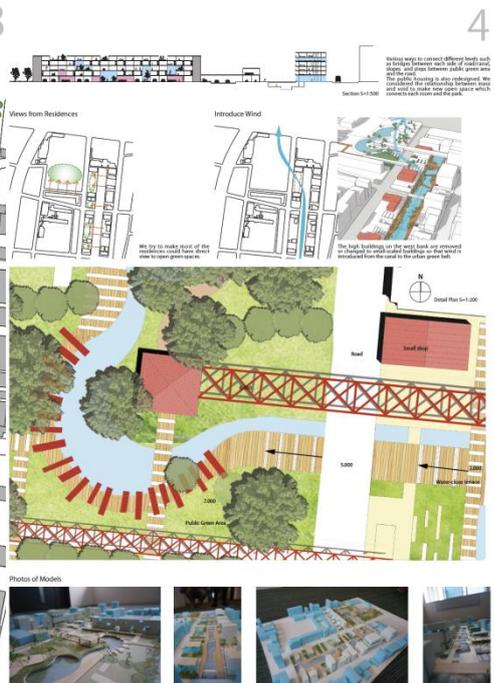
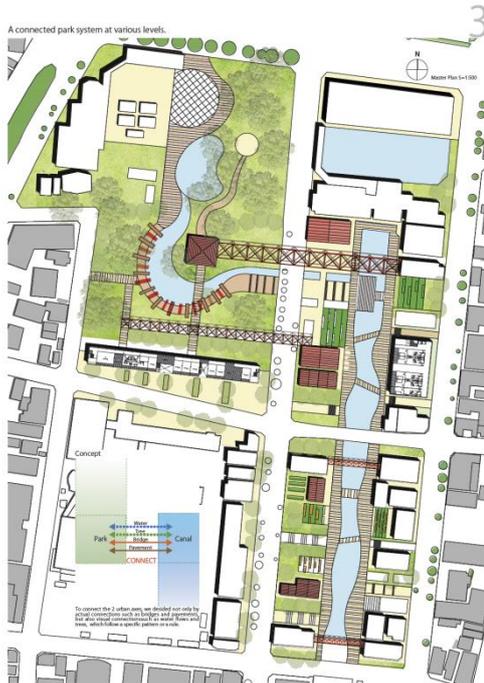
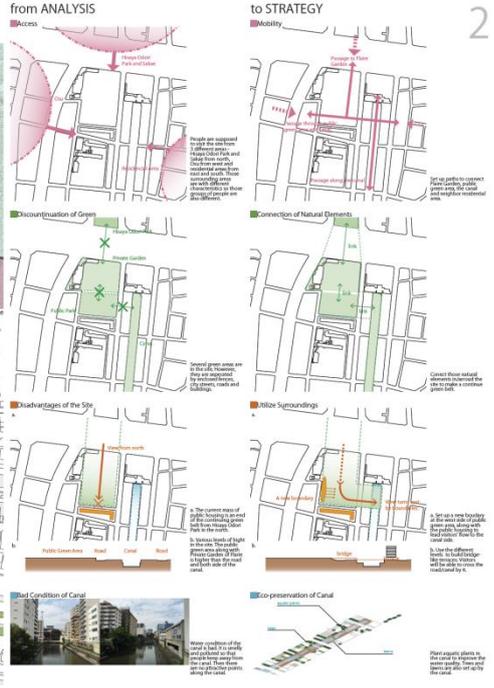
今年、名古屋の都心の特徴付ける2つの都市軸(久屋大通と新堀川)をつなぐエリアを対象に、公共空間や商業・居住空間の整備、新堀川を活かした水と風の道のデザイン、減災等をテーマに、建築・都市デザイン提案を検討しました。2つの都市軸の接点にはフラリエや堀留水処理センター、公営住宅、中学校など公共施設が集積し、久屋大通公園と新堀川という公共空間、都市インフラを有機的につなぐための条件が整っています。同時に、都市スケールと建築スケールの各地域の特性に応じた地区スケールの計画が重要となります。

参加学生は両大学の学生が混成する4つのグループに分かれ、導入講義の後、対象エリアを現地踏査した上で、建築・都市デザインに関わる分析と提案に向けた協働作業を行いました。1日目は名古屋の都市計画・まちづくりとランドスケープ・デザインに関する講義を受け、現地見学に基づき課題や魅力を共有、分析し、2日目以降はグループ作業を行い、3日目には中間発表会、5日目の夕方には成果発表会と送別会を行いました。この間、4日目には豊田講堂の見学も行いました。成果発表会では、各グループの調査・提案が図面(A1版4枚)と模型によって発表されました。時間の制限はあったものの、どの提案も今後の建築・都市デザインの参考になる刺激的な内容でした。また成果発表会には名古屋大学の教員と学生だけでなく、名古屋の行政関係者や建築・都市デザイン関係者も来場し、意見交換が行われました。

本パンフレットは、ワークショップの成果物をまとめたものです。

MULTI-LEVEL CONNECTIONS  
Tiangjin Univ. / GSES-NU Joint Architectural and Urban Design Workshop 2015  
Group A

Members:  
- QI, Yifan  
- ZHU, Dong  
- HOANG, Thi Nga  
- KANEKO, Koki  
- SAITO, Koji  
- YUAN, Cong



●概要

今回私たちのグループは「マルチレベルの連結」というテーマを主軸とし、敷地内における、名古屋都心部「緑の軸」である久屋大通公園の南端と、「水の軸」である新堀川運河の北端地域を連結する緑地・公共オープンスペースを計画した。具体的には、敷地内の公園とその北側の「フラリエ庭園」を久屋大通公園の緑化パターンで再整備し、敷地本来のレベル差を利用し、歩道橋・デッキ・舗装・緑化のパターンで、公園と運河、または運河の兩岸を物理的にまたは視覚的に連結した。そしてまた、敷地内の公営住宅を再設計し、その周りの緑地と商業施設を計画した。

●メンバー

- Tiangjin University
- QI, Yifan
- ZHU, Dong
- HOANG, Thi Nga
- Nagoya University
- KANEKO, Koki
- SAITO, Koji
- YUAN, Cong

# GroupB

# BACKYARD

**ANALYSIS**

**PROBLEM 1**

**PROBLEM 2**

**PROBLEM 3**

**CONCEPT**

**BACKYARD**

- PORTION of a lot or building
- BACK of a house
- OPEN land unlike dense building
- FENCED area for PRIVACY
- GREEN space
- ACTIVITY area
- ENJOYED area
- QUIET area
- PLEASURE time
- LOW speed life style

**SOUND ANALYSIS**

**TARGET PEOPLE**

**BACKYARD OF THE CITY**

**BACKYARD OF THE BACKYARD**

**SECTION**

**STRATEGY**

**MASTER PLAN 1:500**

●概要

計画対象地が周辺の商業施設よりも落ち着いた雰囲気をもっていたため、この場所は都市の'backyard'だと考えた。そこで最も裏側となっていた堀川沿いの空間に滞留できる歩道をつくり、COMMON空間・個人空間とした。川沿いに建つビルの低層部を開放し川縁へと人を誘いながらも、道路と川との高低差を利用した奥まった空間を残している。この場所は周りの商業地区とは対照的な静けさのある空間として、訪れた人に安らぎを与える。

●メンバー

- Tiangjin University
- AN Ran
- CAO Zijia
- Nagoya University
- ITO, Tatsunori
- ONO, Tatsuya
- WANG, Rou
- NUPACE
- Carolyn Maitre

GATHERING

CONCEPT

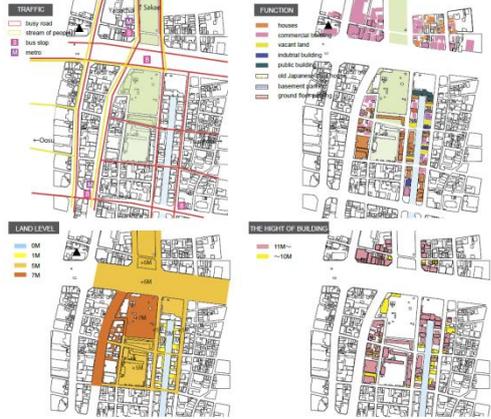
1. Create 2 different Open Spaces for the public and neighborhood
2. Connect stronger Water and Green AXIS on 2 turning points. One is for Green AXIS, the other one is for Water Axis
3. Expand the view of the river to attract the visitor to the riverside
4. Create Wind path and comfortable environment
5. Open th boundary of school and Flarie
6. Create the Water circulating system

STRATEGY

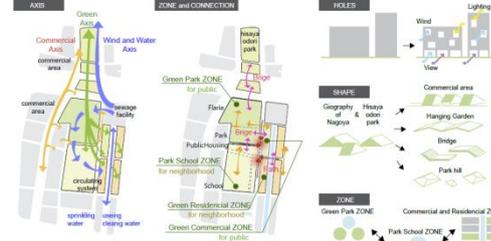
1. Release groundfloor for the public
2. Make the Holes in high building for wind and view
3. Create the roof like a Hill as an extension of Hisaya Odori Park



ANALYSIS



DIAGRAM



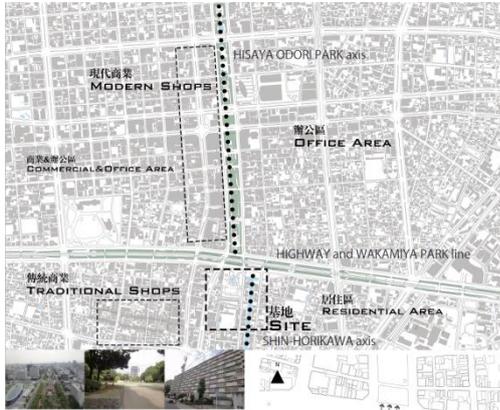
●概要

緑の久屋大通と水の新堀川、二つの軸を繋ぐために川辺空間も含んだ緑と水の二つの広場を川辺空間も含めてデザインを行った。フラリエと学校を隔てていた集合住宅や川沿いに立つ背の高いビルの一部にヴォイドを設けて久屋大通から河への眺望を確保し、川沿いの建物の一部を建て替え、レベルの違う道路と川を歩行空間となる屋根を用いて繋げ、久屋大通の歩行空間の高低差を川沿いの建物のスラブや屋根に取り入れることにより二つの軸を繋げることをめざした。

●メンバー

- Tiangjin University
  - GUO Pengxi
  - HUANG Yushan
- Nagoya University
  - IGARACHI, Chihiro
  - KABA, Kentaro
  - FUJIYOSHI, Tomoyo
  - MATSUNAGA, Haruka
- NUPACE
  - AUDE, Nguyen

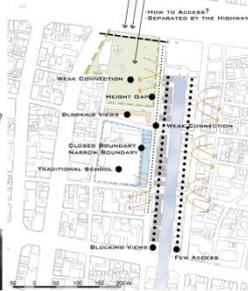
## GroupD



### START of the END

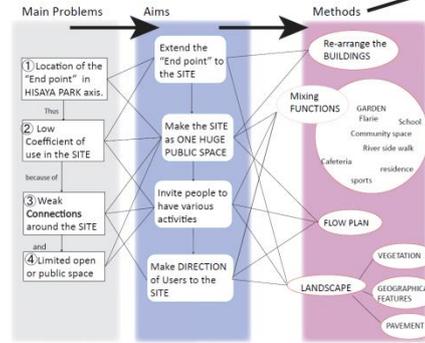
Is there any Connection between the AXES?  
Current Situation and the Problems

- ① Where is the "END POINT" in the HISAYA PARK AXIS?  
The HIGHWAY also separates the people.
- ② How many PEOPLE does come to the SITE?  
The HIGHWAY also separates the people.
- ③ There is WEAK CONNECTIONS among the every place in the SITE.  
The buildings are blocking the view and the flow.
- ④ Where and How do we use the place.  
Not enough vacant space or public space in the SITE.

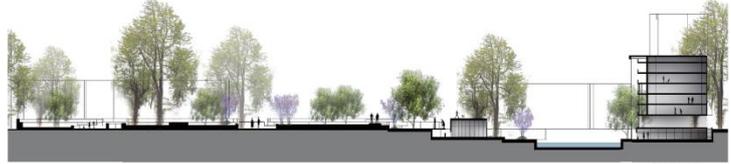
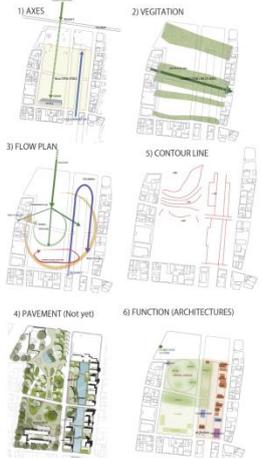


### STRATEGY FLOW (Connections of the Factors)

CONCEPT: Define the STAT and END POINT of the AXES  
(view, activities, zones...)



### Diagram(layers)



### 概要

久屋大通公園の軸と新堀川の軸は一見交差しているようだが、間に高速道路が走っており 2 つの軸は分断されている。これが単に景観だけではなく人の流れも断ち切っている。本グループはフラリエを久屋大通公園の「終点」として延長し、「始点」として新堀川や他の場所へ人を流すプランを提案する。フラリエを利用し、道路をまたいでモザイク状のレンタルガーデンを配置することで周辺地域を包括的につないでいく。

### メンバー

Tiangjin University  
-LI Weimeng  
-LIU Jiankun

Nagoya University  
-FURUTA, Daisuke  
-MATSUI, Naomi  
-MINAMOTO, Keidai  
-WANG Yidang

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学コース  
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校  
天津大学  
交流実績

2009年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2009  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 10名、GSES-NU 大学院生 40名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090413/index.html>>

2009年9月：Japon Workshop ENSA-PVS / GSES-NU 2009-2012 Prospective Metropolitaine  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生、GSES-NU 大学院生 4名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20090927/index.html>>

2009年9月：名古屋大学大学院環境学研究科とパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の間で協定及び覚書を締結  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20091130/index.html>>

2010年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 12名、GSES-NU 大学院生 36名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100412/index.html>>

2010年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2010-2  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生約 30名、GSES-NU 大学院生 4名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20100921/index.html>>

2011年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2011  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18名、米国カンザス大学大学院生 10名、GSES-NU 大学院生 5名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年4月：国際建築・都市設計ワークショップ 2012  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 9名、テルアビブ大学学生 9名、GSES-NU 大学院生 27名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20110912/index.html>>

2012年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2012  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 18名、GSES-NU 大学院生 4名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20120924/index.html>>

2013年4-5月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13名、GSES-NU 大学院生 17名が参加)  
報告記事 <<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130429/index.html>>

2013年9月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2013  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 15名、GSES-NU 大学院生 5名が参加)  
報告記事：<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20130916/index.html>

2014年4月：GSES-NU/ENSA-PVS 合同建築・都市設計ワークショップ 2014  
(会場：名古屋、ENSA-PVS 大学院生 13名、GSES-NU 大学院生 21名、天津大学 1名が参加)

2014年9月：GSES-NU/ENSA-PV/ TIANGJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2014  
(会場：パリ、ENSA-PVS 大学院生 26名、GSES-NU 大学院生 7名、天津大学 4名が参加)  
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20140922/index.html>

2015年5月：GSES-NU/ TIANGJIN Univ.合同建築・都市設計ワークショップ 2015  
(会場：名古屋、天津大学 8名、GSES-NU 大学院生 17名が参加)  
報告記事 <http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/20150525/index.html>

※2011年4月の名古屋でのワークショップは、東日本大震災発生のため中止した。

